



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日

上場会社名 株式会社伊予銀行 上場取引所 東
 コード番号 8385 URL https://www.iyobank.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 三好 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 林 光博 (TEL) 089-907-1034
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	105,444	11.4	36,636	21.7	25,623	22.3
2021年3月期第3四半期	94,640	△2.0	30,100	17.8	20,954	22.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 20,186百万円(△73.5%) 2021年3月期第3四半期 76,175百万円(88.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	80.89	80.82
2021年3月期第3四半期	66.17	66.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,658,637	756,572	8.6
2021年3月期	8,550,739	741,240	8.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 748,827百万円 2021年3月期 732,548百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
2022年3月期	ー	8.00	ー		
2022年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,500	0.5	30,500	16.5	21,000	16.1	66.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	323,775,366株	2021年3月期	323,775,366株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	6,962,721株	2021年3月期	7,104,778株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	316,757,655株	2021年3月期3Q	316,650,339株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
3. 2022年3月期 第3四半期決算 説明資料	9
(1) 2022年3月期 第3四半期損益の概況【単体】	9
(2) 預金等・貸出金の残高【単体】	10
(3) 預り資産の残高	10
(4) 有価証券の評価損益【単体】	11
(5) 金融再生法ベースの開示不良債権【単体】	12
(6) 自己資本比率(国際統一基準)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のおが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展により、感染症の影響が徐々に和らいだことで、経済活動に緩やかな回復の兆しがみられました。先行きにつきましては、政府による経済対策の効果や個人消費の拡大によって、持ち直すことが予想される一方で、変異株による感染症の再拡大や原材料価格の高騰による景気の下振れリスクなど、依然として不透明な状況にあります。

愛媛県経済におきましては、雇用情勢に弱い動きがみられるものの、個人消費及び生産活動は持ち直しており、緩やかな回復基調にあります。先行きにつきましては、全国同様、感染症の動向などに左右される可能性があり、見通しがつきにくい状況にあります。

このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、有価証券を売却したことにより、その他業務収益及びその他経常収益が増加したことなどから、前年同期比108億4百万円増加して1,054億44百万円となりました。一方、経常費用は、有価証券ポートフォリオの入替による国債等債券売却損の計上により、その他業務費用が増加したことなどから、前年同期比42億69百万円増加して688億8百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比65億36百万円増加して366億36百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比46億69百万円増加して256億23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

譲渡性預金を含めた預金等は、前連結会計年度末比1,432億円増加して6兆6,388億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比25億円増加して4兆9,785億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比2,313億円減少して1兆6,664億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比153億円増加して7,565億円となりました。

総資産は、前連結会計年度末比1,078億円増加して8兆6,586億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年11月12日に公表いたしました通期の業績予想を上回っておりますが、新型コロナウイルス感染症による影響等の不透明な要因があることから、通期の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,415,522	1,747,317
買入金銭債権	6,834	6,304
商品有価証券	649	565
金銭の信託	6,427	5,365
有価証券	1,897,768	1,666,463
貸出金	4,975,984	4,978,582
外国為替	8,596	14,210
リース債権及びリース投資資産	31,680	30,228
その他資産	100,097	99,803
有形固定資産	72,991	72,714
無形固定資産	9,035	9,605
退職給付に係る資産	33,201	34,699
繰延税金資産	195	194
支払承諾見返	28,796	30,925
貸倒引当金	△37,043	△38,343
資産の部合計	8,550,739	8,658,637
負債の部		
預金	5,963,676	6,019,688
譲渡性預金	531,969	619,177
コールマネー及び売渡手形	61,624	77,717
売現先勘定	199,289	108,738
債券貸借取引受入担保金	91,604	133,865
借入金	743,645	743,167
外国為替	266	1,194
信託勘定借	5	409
その他負債	76,058	58,596
賞与引当金	1,785	—
退職給付に係る負債	11,326	11,131
睡眠預金払戻損失引当金	1,652	1,247
偶発損失引当金	703	849
株式報酬引当金	289	367
特別法上の引当金	3	3
繰延税金負債	87,228	85,420
再評価に係る繰延税金負債	9,573	9,564
支払承諾	28,796	30,925
負債の部合計	7,809,498	7,902,064

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
資本金	20,948	20,948
資本剰余金	20,352	20,359
利益剰余金	446,871	467,595
自己株式	△5,045	△4,940
株主資本合計	483,127	503,962
その他有価証券評価差額金	222,338	219,091
繰延ヘッジ損益	△374	△611
土地再評価差額金	19,178	19,156
退職給付に係る調整累計額	8,279	7,228
その他の包括利益累計額合計	249,421	244,864
新株予約権	273	208
非支配株主持分	8,418	7,537
純資産の部合計	741,240	756,572
負債及び純資産の部合計	8,550,739	8,658,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
経常収益	94,640	105,444
資金運用収益	57,562	58,576
(うち貸出金利息)	37,272	36,610
(うち有価証券利息配当金)	19,636	20,659
信託報酬	0	0
役務取引等収益	10,619	11,012
その他業務収益	22,342	29,293
その他経常収益	4,116	6,562
経常費用	64,539	68,808
資金調達費用	3,440	2,174
(うち預金利息)	1,254	1,097
役務取引等費用	3,869	3,833
その他業務費用	14,146	19,864
営業経費	38,545	37,010
その他経常費用	4,537	5,925
経常利益	30,100	36,636
特別利益	—	3
固定資産処分益	—	3
特別損失	314	103
固定資産処分損	128	21
減損損失	186	81
金融商品取引責任準備金繰入額	—	0
税金等調整前四半期純利益	29,786	36,537
法人税、住民税及び事業税	7,026	9,665
法人税等調整額	1,694	1,101
法人税等合計	8,720	10,766
四半期純利益	21,065	25,771
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,954	25,623

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	21,065	25,771
その他の包括利益	55,110	△5,584
その他有価証券評価差額金	57,699	△4,296
繰延ヘッジ損益	△2,372	△236
退職給付に係る調整額	△216	△1,051
四半期包括利益	76,175	20,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,076	21,087
非支配株主に係る四半期包括利益	1,099	△900

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第8項に従いデリバティブ取引の時価算定における時価調整手法について、市場で取引されるデリバティブ等から推計される観察可能なインプットを最大限利用する手法へと見直ししております。当該見直しは時価算定会計基準等の適用に伴うものであり、当行は、時価算定会計基準第20項また書きに定める経過措置に従い、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に反映しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金が167百万円減少、その他資産が382百万円減少、その他負債が141百万円減少、繰延税金負債が73百万円減少しております。

(追加情報)

(信託を用いた株式報酬制度)

当行は、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、当行取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しております。

1. 取引の概要

信託は、当行が拠出する資金を原資として、当行株式を取得します。

当行取締役会が定める株式交付規程に基づき、当行取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び執行役員にポイントを付与し、その退任時において、信託を通じてポイントに応じた当行株式及び金銭を交付します。

2. 信託が保有する当行の株式に関する事項

(1) 信託が保有する当行株式は、信託における帳簿価額により株主資本において自己株式として計上しております。

(2) 信託における帳簿価額は143百万円（前連結会計年度末は191百万円）であります。

(3) 信託が保有する当行の株式の当第3四半期連結会計期間末株式数は186千株（前連結会計年度末は247千株）であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 2022年3月期 第3四半期決算 説明資料

(1) 2022年3月期 第3四半期損益の概況【単体】

コア業務純益は、資金利益が増加したことなどから、前年同期比42億円増加の278億円となりました。
 経常利益は、コア業務純益が増加したことなどから前年同期比57億円増加の342億円、四半期純利益は前年同期比41億円増加の241億円となりました。

○主要計数・前年同期比

(単位:百万円、%)

	2021年3月期 第3四半期 (A)	2022年3月期 第3四半期 (B)			2022年3月期 年間 業績予想	進捗率
			前年同期比 (B)-(A)	増減率		
経常収益	79,541	89,961	10,420	13.1	105,000	85.7
業務粗利益	64,826	68,372	3,546	5.5		
(除く国債等債券損益)	60,725	64,435	3,710	6.1		
資金利益	53,839	56,157	2,318			
役務取引等利益	4,518	4,825	307			
その他業務利益	6,469	7,390	921			
(うち国債等債券損益)	4,101	3,936	△165			
経費(除く臨時処理分) (△)	37,096	36,587	△509	△1.4		
実質業務純益	27,729	31,784	4,055	14.6		
コア業務純益	23,628	27,848	4,220	17.9	31,500	88.4
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	22,411	27,746	5,335	23.8		
① 一般貸倒引当金繰入額 (△)	192	△68	△260			
業務純益	27,536	31,853	4,317	15.7	28,000	113.8
臨時損益	898	2,371	1,473			
② 不良債権処理額 (△)	1,821	4,697	2,876			
③ 償却債権取立益	351	420	69			
(貸倒償却引当費用①+②-③) (△)	1,662	4,208	2,546			
株式等関係損益	1,117	4,334	3,217			
その他の臨時損益	1,250	2,314	1,064			
経常利益	28,435	34,224	5,789	20.4	28,000	122.2
特別損益	△315	△99	216			
税引前四半期純利益	28,120	34,125	6,005			
法人税等合計 (△)	8,131	9,938	1,807			
四半期(当期)純利益	19,989	24,187	4,198	21.0	19,500	124.0

(2) 預金等・貸出金の残高【単体】

預金等残高は2020年12月末比3,483億円増加(増減率5.5%)、貸出金残高は2020年12月末比677億円増加(増減率1.4%)しております。

	(単位：億円)		2020年12月末	(参考) (単位：億円)
	2021年12月末	2020年12月末比		
預金等(末残) (注1)	66,662	3,483	63,179	2021年3月末 65,226
うち個人預金	38,640	1,300	37,340	37,407
貸出金(末残)	49,999	677	49,322	49,993
うち中小企業等貸出金(注2)	37,657	964	36,693	37,288
個人向け貸出金	11,705	214	11,491	11,589
うち住宅ローン	8,861	227	8,634	8,707

	(単位：億円)		2020年12月末	(参考) (単位：億円)
	2021年12月末	2020年12月末比		
信用保証協会保証付貸出金	1,731	88	1,643	2021年3月末 1,765

(注) 1. 預金等は、預金及び譲渡性預金の合計であります。

2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

(3) 預り資産の残高

伊予銀行グループの預り資産残高は、2020年12月末比181億円増加の6,041億円となりました。

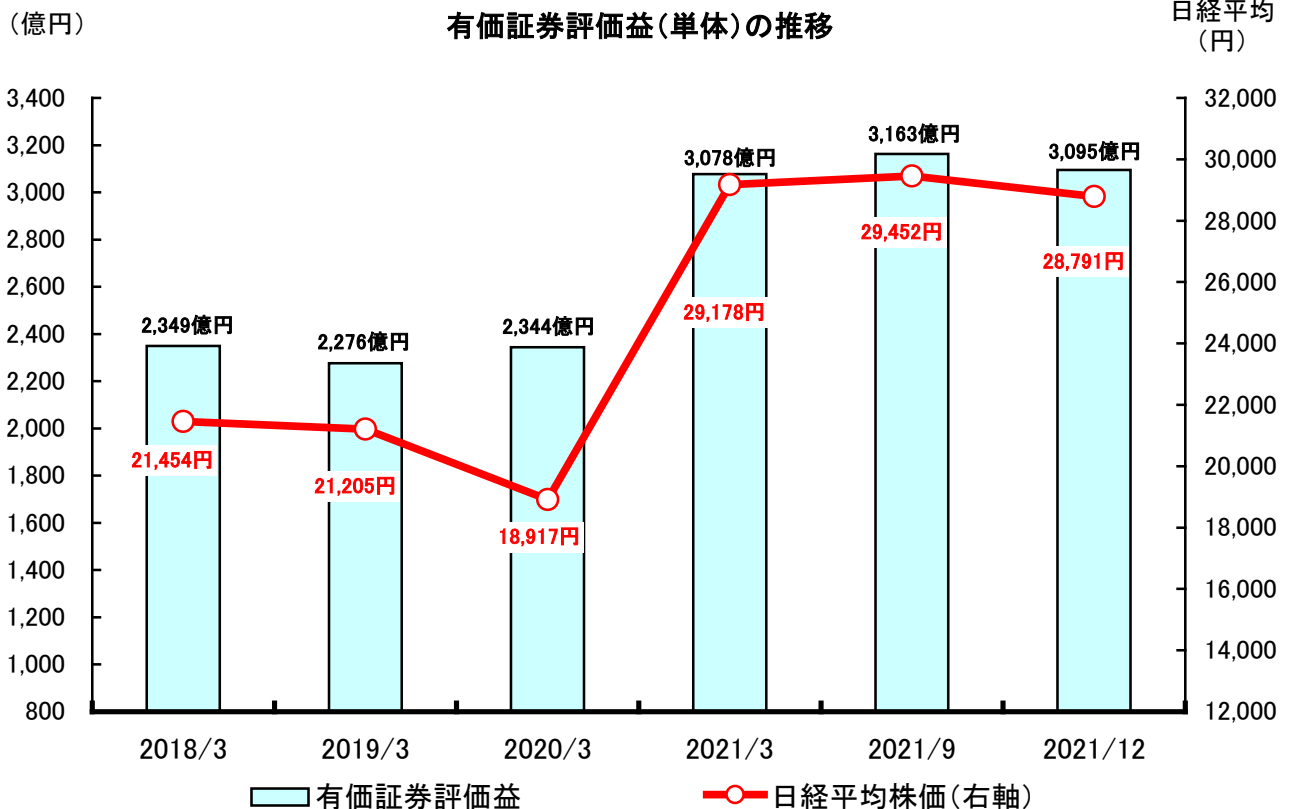
	(単位：億円)		2020年12月末	(参考) (単位：億円)
	2021年12月末	2020年12月末比		
伊予銀行預り資産残高	3,582	82	3,500	2021年3月末 3,483
投資信託	665	72	593	616
保険	2,067	△43	2,110	2,087
国債	205	4	201	192
金融商品仲介	643	48	595	586
四国アライアンス証券預り資産残高	2,458	98	2,360	2,452
伊予銀行グループ合計	6,041	181	5,860	5,935

(4) 有価証券の評価損益【単体】

2021年12月末の有価証券の評価損益は、3,095億円と地銀トップクラスの水準を確保しております。

	(単位：億円)					(参考) (単位：億円)											
	2021年12月末					2021年9月末				2021年3月末							
	時価	評価損益		評価益	評価損	時価	評価損益		評価益	評価損	時価	評価損益		評価益	評価損		
その他有価証券	16,311	3,095	△68	3,199	103	17,303	3,163	3,287	123	18,559	3,078	3,259	180	3,543	2,630	2,682	51
株式	3,417	2,489	△102	2,551	62	3,513	2,591	2,654	63	6,023	80	95	15	8,992	367	481	113
債券	5,235	97	4	102	4	5,197	93	97	4								
その他	7,657	508	29	545	36	8,593	479	534	55								

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券はありません。

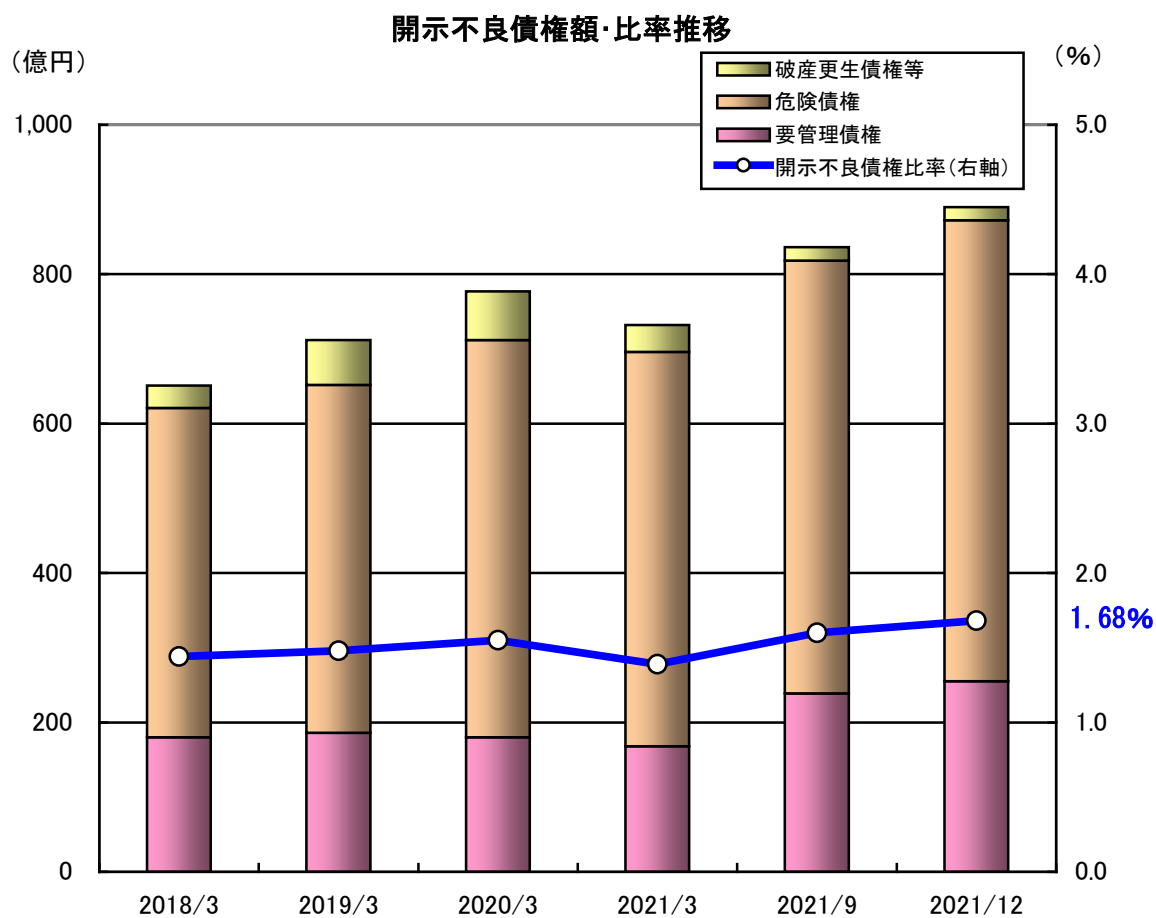


(注) 金銭の信託に係る評価損益を除く。

(5) 金融再生法ベースの開示不良債権【単体】

金融再生法ベースの開示不良債権は891億円、開示不良債権比率は1.68%と引き続き低水準を維持しております。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2021年12月末	2021年9月末比	2021年9月末	2021年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18	—	18	36
危険債権	617	38	579	528
要管理債権	255	16	239	168
合計	891	54	837	733
開示不良債権比率	1.68%	0.08p	1.60%	1.39%



(6) 自己資本比率(国際統一基準)

2021年12月末の連結総自己資本比率は14.80%、連結普通株式等Tier1比率は14.74%となりました。

【単体】

(単位:億円)

	2021年12月末		2021年9月末
	[速報値]	2021年9月末比	
(1) 単体総自己資本比率 ((4) / (7))	14.41%	△0.05%	14.46%
(2) 単体Tier1比率 ((5) / (7))	14.41%	△0.05%	14.46%
(3) 単体普通株式等Tier1比率 ((6) / (7))	14.41%	△0.05%	14.46%
(4) 単体における総自己資本の額	6,731	21	6,710
(5) 単体におけるTier1資本の額	6,731	21	6,710
(6) 単体における普通株式等Tier1資本の額	6,731	21	6,710
(7) リスク・アセットの額	46,681	275	46,406
(8) 単体総所要自己資本額 ((7) × 8%)	3,734	22	3,712

【連結】

(単位:億円)

	2021年12月末		2021年9月末
	[速報値]	2021年9月末比	
(1) 連結総自己資本比率 ((4) / (7))	14.80%	△0.02%	14.82%
(2) 連結Tier1比率 ((5) / (7))	14.78%	△0.03%	14.81%
(3) 連結普通株式等Tier1比率 ((6) / (7))	14.74%	△0.03%	14.77%
(4) 連結における総自己資本の額	6,993	14	6,979
(5) 連結におけるTier1資本の額	6,987	14	6,973
(6) 連結における普通株式等Tier1資本の額	6,969	15	6,954
(7) リスク・アセットの額	47,249	181	47,068
(8) 連結総所要自己資本額 ((7) × 8%)	3,779	14	3,765

(注) 信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。